



平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 20 年 2 月 1 日

会 社 名 アドアーズ株式会社

上場取引所 J A S D A Q

コード番号 4 7 1 2

(URL <http://www.adores.co.jp/>)

代 表 者 役 職 名 代表取締役社長

氏 名 中川 健男

問 合 せ 先 責任者役職名 代表取締役専務兼管理本部長

氏 名 八多川 昭一

(Tel : (03) 5623-1100)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期業績の概況（平成 19 年 4 月 1 日 ～ 平成 19 年 12 月 31 日）

(1) 経営成績

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 (当 期) 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20 年 3 月期第 3 四半期	17,064	13.2	1,589	130.6	1,582	135.8	738	182.8
19 年 3 月期第 3 四半期	15,076	11.1	689	△16.1	671	△20.6	261	36.6
(参考)19 年 3 月期	20,483		1,279		1,267		348	

	1 株当たり四半期 (当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり四半期 (当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	13	64		—
19 年 3 月期第 3 四半期	4	14		—
(参考)19 年 3 月期	5	51		—

(2) 財政状態

	総 資 産		純 資 産		自 己 資 本 比 率		1 株 当 た り 純 資 産	
	百万円		百万円		%		円	銭
20 年 3 月期第 3 四半期	27,494		10,730		39.0		237	52
19 年 3 月期第 3 四半期	29,905		13,866		46.4		219	47
(参考)19 年 3 月期	28,762		13,950		48.5		220	79

2. 配当の状況

	1 株当たり配当金					配当金総額 (年間)	配当性向	純資産 配当率
	中間		期末		年間			
基準日	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%
19 年 3 月期	0	0	2	50	2	50	157	45.4
20 年 3 月期(予想)	0	0	3	00	3	00	—	—

3. 平成 20 年 3 月期の業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通 期	23,000	12.3	1,980	54.8	1,880	48.4	820	135.6

4. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (一部簡便な方法を採用)
 ② 最近事業年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

[(注)詳細は、5 ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におきましては、引き続き中核事業でありますアミューズメント施設運営事業への集中的な取り組みを実施致しております。原油高やサブプライムローン問題等、個人消費にも影響する外的要因もありましたが、既存店舗におきましては各種強化策が奏功し、前年度売上対比 100% 超を維持するなど、昨年度下期以降の回復基調を持続させております。また、新規店舗開設も当四半期で 3 カ店（今期累計 6 カ店）と年次計画を達成し、来期以降の成長基盤も順調に構築できつつあります。

一方、各種施設開発・設計・施工事業におきましては、主力顧客であるパチンコ・パチスロ業界全体の業界不振から新規の大型案件受注が伸び悩み、厳しい事業環境を迎えつつあります。なお、パチスロ機・周辺機器レンタル事業や不動産事業におきましては計画に対して堅調に推移しており、売上高増加の下支えとなっております。

以上の結果、売上高は 17,064 百万円（前年同四半期比 1,988 百万円増、+13.2%）となりました。

利益面ではアミューズメント施設運営事業の積極的なマシン投資や新店開設等による償却費負担が下期に集中する傾向であることや、前述のとおり各種施設開発・設計・施工事業の需給悪化に伴う価格競争や原材料費の高騰等による原価率の上昇はあったものの、前年度対比 100% を超える既存店舗の売上回復に加え、全社一丸となって取り組んでおります効率的な組織運営によるコスト削減の結果、売上総利益は 3,794 百万円（同 1,076 百万円増、+39.6%）、営業利益は 1,589 百万円（同 900 百万円増、+130.6%）と増益となりました。また経常利益におきましても、積極的な機器投資や自己株式取得に伴う借入増による利息負担は若干増加しましたが、1,582 百万円（同 910 百万円増、+135.8%）と高水準での増益を維持しております。なお、純利益に関しましては、一部不良資産を減損処理したものの 738 百万円（同 477 百万円増、+182.8%）となりました。

セグメント別の業績の概要は以下のとおりとなります。

＜アミューズメント施設運営事業＞

	平成 19 年度第 3 四半期 (実績)	平成 20 年度第 3 四半期 (実績)	前第 3 四半期比
売上高	12,344 百万円	14,342 百万円	+16.2%

中核事業でありますアミューズメント施設運営事業におきましては、「業界で最も競争力のあるオペレーター」をスローガンに、引き続き人気マシンの積極的な導入や既存店舗のリニューアル、新店開設等のハード面の強化を行いました。一方、下期以降は「接客サービス」を差別化の根幹と捉え、上期から実施しておりますアルバイトスタッフにいたるまでの徹底した集合研修や社員教育に加え、当四半期におきましては「全社接客コンテスト」や「全店お客様アンケート」の実施等、顧客視点にたった接客スタイルも研究し、マシンラインナップ以上の顧客満足を目指したソフト面の強化に努めております。

また既存店舗におきましては、上記施策に加え、既存店のリニューアル（当四半期にて 3 カ店。いずれも売上 20% 超の効果）やマーケットごとに分析・実施した各種競合店対策が奏功し、昨年度下期以降続いている前年売上対比 100% 超の回復基調を維持・加速しております。

新規開設店舗におきましては、当四半期に『アドアーズ川越店』、『アドアーズ新宿歌舞伎町店』、『アドアーズ大和店・B 館』の計 3 カ店を出店し、期初に掲げておりました 5 カ店以上の新規出店計画を達

成致しました。歌舞伎町店、大和店B館ともに既存店舗がある地域への出店となりましたが、既知のマーケット特性や地域での知名度を活かしたドミナント営業戦略にて高い集客を実現しております。なお、2月に開設が決定している店舗もあり、今期の新規出店は7ヵ店となる見込みです。

収益面におきましても、昨年度より実施しております効率的な店舗運営が定着し、積極的投資による償却負担増や新店開設負担が重なったものの、利益額・利益率ともに前年を上回っております。

以上の結果、売上高 14,342 百万円（前年同四半期比 16.2%増）となりました。

<各種施設開発・設計・施工事業>

	平成19年度第3四半期 (実績)	平成20年度第3四半期 (実績)	前第3四半期比
売上高	1,661 百万円	1,618 百万円	△2.6%

各種施設開発・設計・施工事業におきましては、主要顧客であるパチンコホールの新基準機種への入替えに伴う内外装設備の投資意欲の減退や中小ホールの倒産、更にはこれらによる施設業者間の競争激化に加え、原材料費の価格高騰等、厳しい事業環境となりました。

当社の強みである設計・デザイン力を活かした営業活動により、複数の内外装案件の受注のほか、娯楽・飲食関連施設の設計案件の受注を複数したものの、こうした厳しい環境が影響し下期以降の受注は伸び悩んでおり、売上高は1,618 百万円（前年同四半期比 2.6%減）となりました。

<パチスロ機・周辺機器レンタル事業>

	平成19年度第3四半期 (実績)	平成20年度第3四半期 (実績)	前第3四半期比
売上高	768 百万円	714 百万円	△7.0%

パチスロ機・周辺機器レンタル事業におきましては、パチスロ機レンタルが売上に寄与し、概ね計画通りに推移した結果、売上高は714 百万円（前年同四半期比 7.0%減）となりました。

<その他事業（不動産事業等）>

	平成19年度第3四半期 (実績)	平成20年度第3四半期 (実績)	前第3四半期比
売上高	300 百万円	388 百万円	+29.2%

その他事業におきましては、不動産物件の入居率が概ね計画通り確保できたことに加え、各種テナントリーシングによる効率的な不動産活用などから、売上高は388 百万円（前年同四半期比 29.2%増）となりました。なお、当期間における不動産の売却はございません。

2. 財政状態に関する定性的情報

当第3四半期における総資産は、前事業年度末と比較して1,268 百万円減少致しました。積極投資・新店開設によりアミューズメント施設機器資産および建物等有形固定資産の増加はあるものの、パチスロ機・周辺機器レンタル事業における順調な（長短）受取手形等の決済により減少しております。

負債につきましては、（長短）前受リース・レンタル料の回収はあるものの、借入金の増加により前事業年度と比較して1,952 百万円増加しております。なお、純資産につきましては自己株式の取得ならびに消却により3,219 百万円減少しております。

3. 業績予想に関する定性的情報

第 3 四半期につきましては前記記載の通り、各種施設開発・設計施工事業の不調の影響はあったものの、中核事業でありますアミューズメント施設運営事業の好調さ等から、概ね計画通りの堅調な事業進捗をしております。

第 4 四半期につきましては、アミューズメント施設運営事業の更なる成長加速に向け、引き続き人気マシンの積極導入や立地特性に合わせた各種施策を行い、個店ごとの競争力を高めてまいります。また最も注力しております「接客」に関しましては、当四半期で実施しました「お客様アンケート」等マーケットインの視点も組み込んだ質の高い教育・研修を徹底し、アドアーズブランドの構築を目指します。なお 2 月開設予定の新店では、すべてのセクションの女性社員で構成した全社横断型の新店プロジェクトを発足するなど、女性層に主眼をおいたマーケティング研究もはじめております。

施設関連事業におきましては依然厳しい事業環境の中ではありますが、保有受注案件を的確に施工した上で、大型案件や新規マーケットでの受注獲得を推進し、売上の下支えを目指します。

収益面におきましては、新規開設に伴う初期費用負担や競争力維持のための強化コストを、更なる効率運営を推進することにより吸収し、計画数値できる見込みであり、現時点におきましては平成 19 年 10 月 22 日付の「平成 20 年 3 月期中間期業績予想（非連結）及び通期業績予想（非連結）の修正に関するお知らせ」でご報告いたしました平成 20 年 3 月期通期の業績予想に変更はありません。

平成 20 年 3 月期の業績及び配当予想（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり年間配当金			
					中間		期末	
	百万円	百万円	百万円	百万円	円	銭	円	銭
通 期	23,000	1,980	1,880	820	—		3	00
対前期増減率	12.3%	54.8%	48.4%	135.6%				

なお、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づくものであるため、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる可能性があります。

4. その他

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準につきましては簡便な方法を用いております。

影響額が僅少な項目につきましては一部簡便な方法を用いております。

(2) 最近会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません

5. (要約) 四半期財務諸表

(1) (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、%)

科目	当四半期(平成20年3月期第3四半期末)		前年同四半期(平成19年3月期第3四半期末)		増減		(参考)平成19年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(資産の部)								
I 流動資産								
1.現金及び預金	3,697		5,313		△ 1,616	△30.4	5,969	
2.受取手形	710		2,092		△ 1,382	△66.1	1,590	
3.売掛金	75		108		△ 33	△30.6	147	
4.完成工事未収入金	335		160		175	109.4	7	
5.たな卸資産	337		1,015		△ 678	△66.8	630	
6.短期貸付金	0		4		△ 4	△75.8	0	
7.繰延税金資産	83		97		△ 14	△14.4	131	
8.その他	1,003		734		269	36.6	625	
9.貸倒引当金	△ 12		△ 54		42	△77.8	△ 38	
流動資産合計	6,232	22.7	9,473	31.7	△ 3,241	△34.2	9,065	31.5
II 固定資産								
有形固定資産								
1.アミューズメント施設機器	5,735		4,001		1,734	43.3	3,859	
2.貸与資産	748		1,619		△ 871	△53.8	1,393	
3.建物	3,387		3,162		225	7.1	2,922	
4.土地	2,655		2,655		0	-	2,655	
5.その他	342		212		130	61.3	381	
有形固定資産合計	12,869	46.8	11,652	39.0	1,217	10.4	11,212	39.0
無形固定資産	356	1.3	348	1.1	8	2.3	365	1.3
投資その他の資産								
1.長期受取手形	195		753		△ 558	△74.1	439	
2.敷金保証金	7,287		7,118		169	2.4	7,134	
3.繰延税金資産	275		222		53	23.9	215	
4.その他	502		513		△ 11	△2.1	499	
5.貸倒引当金	△ 224		△ 176		△ 48	27.3	△ 168	
投資その他の資産合計	8,036	29.2	8,431	28.2	△ 395	△4.7	8,118	28.2
固定資産合計	21,262	77.3	20,431	68.3	831	4.1	19,697	68.5
資産合計	27,494	100.0	29,905	100.0	△ 2,411	△8.1	28,762	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

(単位:百万円、%)

科目	当四半期(平成20年3月期第3四半期末)		前年同四半期(平成19年3月期第3四半期末)		増減		(参考)平成19年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
(負債の部)								
I 流動負債								
1.支払手形	1,172		1,676		△ 504	△30.1	1,813	
2.買掛金	782		781		1	0.1	736	
3.工事未払金	97		476		△ 379	△79.6	239	
4.一年内償還予定社債	900		900		0	-	900	
5.短期借入金	200		200		0	-	200	
6.一年内返済予定長期借入金	2,554		1,412		1,142	80.9	1,614	
7.未払法人税等	467		131		336	256.5	193	
8.前受リース・レンタル料	51		591		△ 540	△91.4	505	
9.賞与引当金	76		74		2	2.7	139	
10.その他	1,017		1,770		△ 753	△42.5	1,497	
流動負債合計	7,320	26.6	8,013	26.8	△ 693	△8.6	7,839	27.3
II 固定負債								
1.社債	2,490		3,390		△ 900	△26.5	3,290	
2.長期借入金	6,619		4,093		2,526	61.7	3,344	
3.預り保証金	313		304		9	3.0	304	
4.レンタル預り保証金	11		9		2	22.2	10	
5.長期前受リース・レンタル料	2		1		1	100.0	8	
6.その他	6		225		△ 219	△97.3	13	
固定負債合計	9,443	34.4	8,025	26.8	1,418	17.7	6,972	24.2
負債合計	16,764	61.0	16,038	53.6	726	4.5	14,811	51.5
(純資産の部)								
I 株主資本								
1.資本金	4,000	14.5	4,000	13.4	0	-	4,000	13.9
2.資本剰余金								
(1)資本準備金	5,855		5,855		0	-	5,855	
資本剰余金合計	5,855	21.3	5,855	19.6	0	-	5,855	20.4
3.利益剰余金								
(1)利益準備金	85		85		0	-	85	
(2)その他利益剰余金	2,832		4,063		△ 1,231	△30.3	4,149	
利益剰余金合計	2,917	10.6	4,148	13.9	△ 1,231	△29.7	4,235	14.7
4.自己株式	△ 2,049	△ 7.4	△ 149	△ 0.5	△ 1,900	1,275.2	△ 149.0	△ 0.5
株主資本合計	10,723	39.0	13,855	46.4	△ 3,132	△22.6	13,941	48.5
II 評価・換算差額等								
1.その他有価証券評価差額金	7		11		△ 4	△36.4	8	
評価・換算差額等合計	7	0.0	11	0.0	△ 4	△36.4	8	0.0
純資産合計	10,730	39.0	13,866	46.4	△ 3,136	△22.6	13,950	48.5
負債・純資産合計	27,494	100.0	29,905	100.0	△ 2,411	△8.1	28,762	100.0

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております

(2) (要約) 四半期損益計算書

(単位：百万円、%)

科目	当四半期(平成20年3月期第3四半期末)		前年同四半期(平成19年3月期第3四半期末)		増減		(参考)平成19年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率	金額	構成比
I 売上高	17,064	100.0	15,076	100.0	1,988	13.2	20,483	100.0
II 売上原価	13,269	77.8	12,357	82.0	912	7.4	16,524	80.7
売上総利益	3,794	22.2	2,718	18.0	1,076	39.6	3,958	19.3
III 販売費及び一般管理費	2,205	12.9	2,029	13.5	176	8.7	2,679	13.1
営業利益	1,589	9.3	689	4.6	900	130.6	1,279	6.2
IV 営業外収益	170	1.0	120	0.8	50	41.7	175	0.9
V 営業外費用	176	1.0	138	0.9	38	27.5	186	0.9
経常利益	1,582	9.3	671	4.5	911	135.8	1,267	6.2
VI 特別利益	-	-	18	0.1	△ 18	-	55	0.3
VII 特別損失	219	1.3	234	1.6	△ 15	△ 6.4	762	3.7
税引等調整前四半期(当期)純利益	1,362	8.0	455	3.0	907	199.3	560	2.7
税金費用	623	3.6	193	1.3	430	222.8	212	1.0
四半期(当期)純利益	738	4.3	261	1.7	477	182.8	348	1.7

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております